

山东师范大学  
硕士研究生入学考试试题

考试科目名称：基础日语

试题编号：713

- 注意事项：1. 本试卷共三道大题（共计 20 个小题），满分 150 分；  
2. 本卷属试题卷，答题另有答题卷，答案一律写在答题卷上，写在该试题卷上或草纸上均无效。要注意试卷清洁，不要在试卷上涂划；  
3. 必须用蓝、黑钢笔或圆珠笔答题，其它均无效。

\*\*\*\*\*

問題一 読解 (60 点)

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(35 点)

秀吉は信長になろうとしているのだ。これまでの秀吉のやり方を見ていると、戦争でも、部下の操縦でも、みんな信長のまねであった。信長の（ア）モホウにおいて、利休を据えているとしか思えなかった。利休を茶頭としたことで、秀吉は信長になったつもりでいる。すると、利休は勢い信長と秀吉とを比べないわけにはいかなかった。信長は茶を解していた。たしかに茶の真に直感を働かしていた。芸術に対するあこがれがあった。それだからこそ、自分はあれほど信長に（イ）執着することができた。構えは、要らなかった。彼に对しただけで、いつも充足があった。【 a 】秀吉は異なっていた。なるほど彼は\*数奇者として異常に熱心である。が、それは何か的外れていた。芸道の理解も上滑りした、底の浅いものである。利休が秀吉に間隔を置いて、どこかで傍観している理由は①そこにあった。実際、利休は秀吉に対して、いつもでもなずんで行けそうになかった。利休は【 b 】を（ウ）嫌悪した。大げさな身ぶりを嫌った。自然な単純が彼の理念であった。\*室町書院を百姓家の草ぶきに引き直してしまった。\*露地の植木は山間の（エ）風情である。駒下駄、\*雪踏など庶民の生活のものを平気で持ち込む。利休の茶の芸術というものは、要するに、そういう薄墨の美であった。【 c 】の茶であった。信長は、その美が分かっていた。この保護者は、利休を理解してくれていた。だから利休は安心して、己の茶の完成に努めることができた。そこに、保護者として秀吉が（オ）ヨウタイした。彼は黄金の茶室をつくり、\*唐織りにしきの小袖を着て、紅色の長い帯を垂らしながら二畳半の座敷に現れる。彼は黒茶碗を嫌う。墨染めの襟、\*布子色にしき帯をつける利休の観念からすれば、【 d 】のならないものであった。秀吉を数奇者というが、信長と違って、茶の心など分かりはしない。少なくとも己が完成して自負している茶の美をだ。茶は、俗物である彼の気どった装飾に過ぎない。そう思うと利休は、秀吉という人物をだんだん軽蔑したくなってきた。秀吉は、むやみと官位を欲しが。閑白の次に太政大臣の位階をもらった。そのことは、彼の茶にも通っていないとどうして言えようか。利休は、もう一度、秀吉という人物が我慢できなくなった。さりとて、利休は秀吉の前から②後退する意志は

少しも無かった。それでは茶の道が秀吉からいよいよ汚されることになりそうだった。利休は、(カ) 権勢に結び付いた茶が、その精神を秀吉に侵略されそうな気がした。利休は秀吉と格闘しようとした。

(松本清張『千利休』より)

語 釈

*数奇者……………特に、茶道を好む人	*露地……………風流な茶室の庭園
*雪踏……………竹の皮で編んだ草履	*唐織り……………中国風の織物
*布子……………木綿の綿入れ	
*室町書院……………室町中期から起こり、桃山時代に完成した武家住宅	

問1. 傍線部 (ア) ~ (カ) のカタカナは漢字で、漢字は読みを平仮名で書きなさい。

問2. 【 a 】 ~ 【 c 】 を補うのに、次の (ア) ~ (オ) の中から最も適当なものをそれぞれ選んで、記号で書きなさい。

- a (ア) そして (イ) すると (ウ) だから (エ) しかし (オ) ゆえに  
b (ア) 愚者 (イ) 華美 (ウ) 冷静さ (エ) 虚偽 (オ) 執着  
c (ア) 町人 (イ) 芸人 (ウ) 武士 (エ) 高僧 (オ) 貴族

問3. 【 d 】 を補うのに、最も適当な漢字二字の熟語を文章の中から抜き出して書きなさい。

問4. 次の二文は、上の中から抜き出したものである。それぞれどの文の後に入っていたのか。その文の文末五字ずつを抜き出して書きなさい。(句読点は一字に数えない)

- A 美への直観というものが無かった。  
B 秀吉が信長になれるとは、少なくとも茶のことでは、とんでもないことだと思った。

問5. 傍線部①「そこ」とは、どういうことをさしているのか。上の文章の語を用いて、30字以内で書きなさい。(句読点は一字に数える)

問6. 傍線部②「後退」せずに、利休はどうしようとしたのか。上の文章の中から一文節を抜き出して書きなさい。

問7. 秀吉にとって茶は何であると利休は結論づけたのか。次の (ア) ~ (オ) の中から最も適当なものを選んで、記号で書きなさい。

- (ア) あこがれ (イ) 理念 (ウ) 装飾 (エ) 権勢 (オ) 精神

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

アンドレ・マルローが日本へ来たとき、那智の滝をみて言った言葉を、私は時々思い出す。日本人の芸術観について考える場合、何時も一つのこだわりとして思い出されてくる。彼は自ら申し出て那智まで出かけたらしいが、滝を目にしてこういったという。「自分は自然にはめったに感動しない男だが、これには本当に感動した。」

自然に感動しないという心情は、日本の芸術家にはあまりないのではないかと思う。そのことのプラス、マイナスは今では問わぬとして、彼らは自分の技巧のかぎりを駆使した造型物のはてに、**A**を漠然と考えているようである。ものごとを対立的に捉えるという習性が、日本人はヨーロッパ人に比して弱いことが、原因かも知れない。自然と人工、あるいは芸術という関係を、対立的には考えなかった。①人工の行き着くはてに、自然を見た。

明治以降、英語のネイチュアの訳語として、自然という熟語は作られた。それ以前には、自然とは、ジネンと読んで、本来そうであること、「あるべきやう」に言った。むしろ、造化が自然界を意味したが、それは単に、人間に対する自然なのではない。それは、人工物に手を貸して②完成させてくれる働きのこと、日本人の芸術観、あるいは美意識の根底には、どうもそのような思想があるようだ。

そういった働きが自然にあるということは、やはり自然に生きた生命を感じていることである。生物と同じく、地水火風といったものにも生命を感じ、威力を具えた霊的存在を感じている。アニミズムの思想を、日本人は心のどこかに、今も失わないでいる。自然の中のその霊的なものを、自分の造り出した作品にも宿すことが、日本の芸術家たちの願いとなる。**B**ということは、あらゆる芸術家たちの願いであるが、日本の芸術家たちはその先を考える。造型は第一の目標でなく、その先に生命を究極の目標として考えてる。芭蕉は「もの見えたる光、いまだ心に消えざる中に言ひとむべし」という。目標は「かたち」でなく「ひかり」であり、「いのち」である。

目標のはてに「**C**」でなく、「**D**」を置いているからこそ、日本（あるいは東洋）では、西洋では考えられないようなものが芸術の仲間入りをする。茶の湯とか、生け花とか、陶器とか、庭とか、書とか。このような芸術の目標を「**E**」に置いたら、それらは墮落する。つねに「**F**」の果てに

「**G**」を思い描くことが肝要である。一瞬の生命の高揚が遂げられれば、あとは**H**を止めなくても足れりとする覚悟が、日本の芸術家にはあった。

(山本健吉『「いのち」と「かたち」』より)

(注) アンドレ・マルロー……フランスの小説家・政治家  
アニミズム……自然界のあらゆるものに靈魂を認める考え方。

問一：文中空欄**A**にあてはまる最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

- (ア) 神との合一 (イ) 人間の理想  
(ウ) 完全に似せること (エ) 自然との一体化

問二：文中空欄**B**にあてはまる最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

- (ア) 人を感動させる (イ) 真理を映し出す  
(ウ) 形を造り出す (エ) 美を映し出す

問三：文中下線部①の「人工の行き着くはてに、自然を見た」とは、どういうことか。最も分かりやすく言い換えている部分を、本文中から一文で抜き出して答えよ。

問四：文中空欄**C**～**H**には「かたち」か、「いのち」のどちらかの語が入る。それぞれの語はどのような順序で入るか。最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

- (ア) かたち — いのち — いのち — かたち — いのち — かたち  
(イ) いのち — かたち — いのち — かたち — かたち — いのち  
(ウ) かたち — いのち — かたち — いのち — いのち — かたち  
(エ) かたち — いのち — かたち — かたち — いのち — かたち

(オ) いのち — かたち — いのち — かたち — いのち — いのち

問五：文中下線部②の「完成」とはどういうことを意味するのか。本文中の表現を用いて、15字以内で答えよ。

## 問題二 翻訳 (50点)

一、次の中国語を日本語に訳しなさい。(30点)

(1) 我到东京的第三天，友人带着去了箱根。从东京到横滨的途中，印象最深的是无边的瓦砾，衣衫褴褛的妇女，形容枯槁的人群。但是道路很平坦光洁。快到箱根，森林渐渐深起来，红叶映着夕阳，弯曲的道路，更增添了一层秀媚。在山路大转弯的地方，富士山头顶雪冠，裹着紫云，真有一种难以形容的美。比起欧美的一流旅馆，箱根的旅馆也不算差。从窗口望去，到处溢满东样风味。山岭，房檐，石塔，小桥等等，使人感到幽雅，舒适。那一夜我怎么也不能入睡，各种各样的想法千头万绪，自己也说不清楚为什么有这样的感情。

(2) 三月的原野已经绿了，像地衣那样绿，透出在这里，那里。郊原上的草，是必须转折了好几个弯儿才能钻出地面的，草儿头上还顶着那胀破了种粒的壳，发出一寸多高的芽子，欣喜的钻出了土皮。放牛的孩子，在掀起了墙脚片下面的瓦片时，找到了一片草芽了，孩子们到家里告诉妈妈，说：“今天草芽出土了！”妈妈惊喜的说：“那一定是向阳的地方！”蒲公英发芽了，羊咩咩的叫，乌鸦绕着杨树林子飞，天气一天暖似一天，日子一寸一寸的都有意思。

二、次の日本語を中国語に訳しなさい。(20点)

海を見て来いと言われて、わざわざ海を見に出かけるなんていうのは初めてだ。

子供の頃からずっと四十年、湘南の海辺で暮らしてきて、ことさらしげしげと海を眺めることはない。私が元来景色というものに鈍感な人間だからかもしれないが、相手が海のような茫洋たる代物では、こっちがいくら力んでも仕方がない。そっとしておくほかはない。あれはお日様と同じようなもので、まともに鑑賞したりできるものじゃない、そこにちゃんと控えていてくれれば安心していられるという、そういう性質のものだと思っている。

山のふとこで育った人は、山に対して、やはり私と似たような気持ちを抱いているにちがいない。私のほうでは、山の奥深くに入ると、妙に落ち着かなくて、すぐにも逃げ帰りたくなるのであるが。

そんなわけで、海も山も、景色のほうはもっぱら新婚さんやお年寄りの団体さんにお任せして、当方が面白いのは、

景色よりもやっぱり人間、

どんな名所よりもやっぱり東京、

と、日頃から田舎の人たちの反感を買うようなことを公言してきた。

## 問題三 作文 (1500字前後) (40点)

豊かさについて